

事務事業名	土砂災害対策事業	事務事業No.	30102000350	所属課	防災課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成11年6月に広島県で発生した土砂災害がきっかけとなり、土砂災害防止法（平成13年4月1日施行）が制定された。これにより県において、土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定を進めると共に、市では法律で義務付けられた土砂災害ハザードマップの作成・配布し啓発を図ってきた（平成20、24、27、令和元年度）。警戒区域の等の指定は、県において進められ、直近では令和4年度に新規指定のための住民説明会を行ったのちに、令和5年3月30日に5箇所（4地区）指定となった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 警戒区域等の指定はやむを得ないが、簡単に引越すことはできないため、土石流等を防止する工事の施工を要望している。また、治山工事や砂防施設ができたことによる警戒区域の解除に関して相談がされている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 土砂災害の危険がある場所を把握する、周知することにより、市民の安全を守る。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の安全を守ることは市として当然のことであり、妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 防災訓練等の際に、警戒区域の周知を行う。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土砂災害の危険箇所について把握できなくなれば、警戒ができなくなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 同様の事業がないため。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ハザードマップの作成・配布も終了しており、特別な事業費はないため。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 問題なく公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 近年の災害は、全国的に激甚化しており土砂災害警戒区域の危険性と早期避難の重要性が高まっている。土砂災害警戒区域の周知を随時行っているが、完全に周知されたとは言いがたい。今後もハザードマップの周知と警戒区域に関する説明などを行っていききたい。また、警戒区域に指定された地域に対する制限など、関係部署との連携が不可欠ある。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持					低下			
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 訓練時にハザードマップの配布や説明等の周知活動を実施しているが、いつ起こるか分からない災害への意識向上が難しい。防災への意識向上の啓発イベントなどを実施し、興味関心を持ってもらえるよう努める。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認